

CLI を使用して syslog サーバーに送信されるメッセージの最小重大度を構成する

...

最終更新 日：2023年3月17日 1 分読む

このトピックでは、CLI コマンドを使用して、Syslog サーバーに送信するログメッセージの最小重大度レベルを指定する方法について説明します。ログコマンドの完全なリスト、使用方法、およびパラメータについては、*CLI コマンドリファレンス*を参照してください。

前提条件

- 管理者アクセス

Syslog サーバーに送信されるログ メッセージの最小重大度を構成するには、次の手順を実行します。

- CLI 設定モードに移動します。

```
ホスト名 >ホスト名を有効にする
#端末の設定
```

- Syslog サーバーに送信されるメッセージの最小重大度レベルを指定するには、`logging trap <severity>` コマンドを使用します。ここで `<severity>`、 は次のいずれかです。

- `none` — ログ記録を無効にします。
- `emerg` — システム障害。
- `警告` — すぐに対処する必要があります。
- `crit` — 危険な状態。
- `err` — エラー状態。
- `警告` — 警告状態。
- `通知` — 正常だが重大な状態。
- `info` — 情報メッセージ。
- `debug` — デバッグレベルのメッセージ。

次の例では、エラー レベル以上の重大度のすべてのログ メッセージが syslog サーバーに送信されるように指定します。

```
ホスト名（設定）#ログトラップエラー
```

- 変更を確認します。

```
ホスト名（config）# show logging
ローカルログレベル：通知
  クラス mgmt-back のオーバーライド：通知
  クラス mgmt-front のオーバーライド：通知
```

```
リモート syslog のデフォルト レベル：      err
リモート syslog サーバー： 10.10.20.62 err
  プロトコル： udp
  ポート： 514
[ . . . ]
```

- 変更を保存します。

